

8月 モニターレポート	担当出張所	伏見出張所
担当区間	国道1号宇治川大橋～三川合流部背割堤（34.6km～42.4km）	
モニター実施日時	令和元年8月1日 11時～14時00分 令和元年8月22日 10時15分～12時20分	
天候	晴れ	

8月 1日

（見出し）

三川合流地点から桂川の上流部に向かい、天王山大橋に至る。

その後、背割り堤の先端部まで行き、気づいた事項について報告をする。

- 1 さくらであい館でレンタサイクル（マウンテン）して桂川に向かう。
- 2 天王山大橋付近で休憩する。ここで、桂川下流を眺める。
- 3 戻り途中で、背割り堤の先端部まで行き、堤の高さが、水面から9メートルである標識を発見する。
標識は、水面から9メートルの高さに堤があるとの意味と考えます。
しかし、最も必要な標識は、日常的に、この付近は何メートルあるという深さの認識であると考えます。
- 4 天王山大橋の橋下には、割と広いスペースがあり、飲み食いの跡が見られた。
周囲は藪などで覆われており、事故、事件が起きる可能性が考えられた。

◆ 堤の先端（標識）



◆ 天王山大橋の橋下



◆ 天王山大橋の橋下



◆ 天王山大橋から桂川を眺める



8月22日

(見出し)

三川合流部地点から国道1号宇治川大橋を往復し、三川合流部であい館に帰着した。その間に気づいた事項について報告をする。

(内容)

河に面したコンクリート岸で魚釣り。

注意ではなく、禁止すべき。

大変危険。侵入禁止の看板必要。



さくらであい館左岸



宇治川左岸：久御山排機場付近

広範囲にわたり、様々なゴミの散乱。

このあたりは、大橋の長さ比べ、川幅が

道路沿いに進入禁止の看板必要。

狭い。大雨時期に効果があるように感じます。



ゴミ散乱：久御山排機場付近



国道1号宇治川大橋北のたもと

大変きれいに護岸工事がなされている。



競馬場河川護岸：右岸

舗道が2車線となっていた。この付近でしか見られなかった。歩道と車道でしょうか、安心出来る道であった。



宇治川大橋よりユーターン：右岸にて三川
合流地点にもどる途中

河川事務所の職員の方々も、日々、河川の安全、地域住民の安心等を図るため、
職務の遂行に全力を傾けている様子が伺えました。（たまたま、出会う）



淀大橋中央



計測棒

- 1 宇治川は、まさに大河であるとの認識を持った。
- 2 川幅は各々異なり、川に面した側面は毎日削られていくのでしょうか。若干不安が横切る。
- 3 管理事務所の職務は、まさに多岐にわたり、スケールの大きさが感じられた。
- 4 河そのものは、日常的に地域住民の生活を潤し、異常気象による災害ではその生活を無にする作用を持っています。管理される職員の皆様に敬意を表したいと存じます。

（意見・感想・処置等）

導流堤の先端にある標識は、量水標であり、洪水等の際に、水位を目視で読み取るためのものです。
量水板の目盛り（数字）は、その地点の基準面からの高さを示しているものです。基準面高は、水面高や河床高
に合致しているわけではありません。

仮に、9mの目盛りまで水位が上昇すれば、導流堤は水面下との状況になっています。

横の施設は、水位観測局舎で、三川合流点の水位を機器により観測し、そのデータを無線で自動送信しており、
その情報は、「川の防災情報」で見ることが出来ます。

河川敷は、公共の空間として、原則として、誰もが自由に利用することができる場所です。

河川管理上や施設管理上の必要性がある場合には、柵・看板の設置等により、立ち入り禁止の措置をしており、適宜点検等により見直しも行っています。

水遊びについても、原則としては、自由使用となるので、注意喚起の看板となっています。ダム・堰・樋門の周辺については、禁止としていることが多いです。

競馬場の下流の堤防道路については、堤内側（民地側）に久御山町道が、堤外側（河道側）に河川管理通路との構造となっています。河川管理用通路は、一般車両が通行することが出来ないため、歩行者等は安心・安全に通ることが出来ます。

次回も、熱心なレポート、よろしくお願い致します。